

平成31(令和元)年度 事業報告

自 平成31年 1月 1日
至 令和 元年12月31日

公益財団法人 鹿沼市農業公社

平成 31(令和元)年度 公益財団法人鹿沼市農業公社 事業報告

農業を取り巻く情勢は、農業従事者の高齢化や担い手不足といった慢性的な問題に加え、TPP発効後1年が経ち、米の関税は維持したものの新たな輸入枠を設けるなど農作物に対する将来への不安が残されたままであります。

また、8月以降の天候不順に続き10月に起った台風19号による農業被害は近年にない被害規模であり、復旧のめどが立たない箇所が多数あって営農の継続が危ぶまれる状況であります。

当農業公社におきましては、事業計画に基づき農作業の受委託や、農地中間管理事業を活用した担い手への農地の集積を推進していくとともに、いちご新規就農者である研修生の受入れや、親子農業体験学習の実施、狩猟免許取得に関する助成などの事業を展開してまいりました。

また、改正農地バンク法の施行に伴い、円滑化事業の移行など新たな農地流動化への対応や人・農地プランの推進などについて、関係機関と連携して、担い手農家が効率的かつ安定的な農業経営を堅持できるよう各種公益事業等に取り組みました。

なお、具体的な事業内容については、以下のとおりご報告いたします。

1 理事会の開催状況

開催区分	開催日	開催内容
定時理事会	2月20日	・平成30年度 事業報告の承認について ・平成30年度 収支決算の承認について ・平成31年度 定時評議員会の招集について
臨時理事会	3月30日	・役員を選任について ・退職手当規程の一部改正について
臨時理事会	4月1日	・臨時評議員会の招集について ・役員を選任について
臨時理事会	5月15日	・就業規程の一部改正について
臨時理事会	7月24日	・令和元年度補正予算の承認について
臨時理事会	10月10日	・臨時評議員会の招集について
臨時理事会	10月25日	・役員を選任について
定時理事会	12月16日	・平成31年度 補正予算(案)について ・令和2年度 事業計画(案)について ・令和2年度 収支予算(案)について ・資金調達及び設備投資の見込みについて ・臨時評議員会の招集について
臨時理事会	12月23日	・職員給与規程の一部改正について

2 評議員会の開催状況

開催区分	開催日	開催内容
定時評議員会	3月13日	・平成30年度 事業報告の承認について ・平成30年度 収支決算の承認について ・理事の選任について
臨時評議員会	4月1日	・理事の選任について
臨時評議員会	10月16日	・理事の選任について
臨時評議員会	12月23日	・平成31年度 補正予算(案)について ・令和2年度 事業計画(案)について ・令和2年度 収支予算(案)について ・資金調達及び設備投資の見込みについて

3 各種事業の実施状況について

(1) 農地流動化事業

① 農地利用集積円滑化事業

区分	当初計画		実績		備考	
地主	戸数	580戸	戸数	645戸	対比	111.2%
	/		筆数	1,807筆	/	
	面積	390ha	面積	416.5ha	対比	106.7%
担い手	戸数	80戸	戸数	81戸	対比	101.25%
	/		筆数	1,807筆	/	
	面積	390ha	面積	416.5ha	対比	106.7%

・ 農地利用集積円滑化事業の新規契約

区分	実績			備考
地主	戸数	42戸	面積	18.7ha
担い手	戸数	15戸	面積	18.7ha

② 農地中間管理事業

- ・ 担い手への農地集積、集約化を推進し、地域の農地利用の最適化や規模拡大による農業経営の効率化を促進した。
- ・ 機構集積協力金交付事 今年度該当なし
- ・ 機構による担い手への貸付
下 沢 地 区 契 約 件 数 : 1 件、 面 積 : 0.5ha(1筆)

(2) 農作業受委託等推進事業

① 農作業支援制度確立のための管理再委託作業の実施

- ・ 農作業支援者の登録
水田の水管理 48名
畦畔の草刈作業 32名(うちグループ2団体)
- ・ 畦畔等の草刈委託希望農家に対し、登録者情報を随時提供した。
- ・ 現地で委託希望農家と農作業支援登録者との調整(畦畔面積、料金設定等)を実施した。
- ・ 草刈、水管理 実績 : 戸数 154戸、面積 99.1ha

② 農地相談会の開催

- ・ 農地の売買、賃貸借、農作業委託、耕作放棄地問題等、農地に関する総合的な相談会を農業公社において開催した。
- ・ 開 催 日 : 12月 1日(日)
- ・ 相 談 員 : 9名(農業委員、市農政課、農業委員会事務局、農業公社)
- ・ 相談件数 : 20件
(貸借・売却 18件、規模拡大 2件)

(3) 耕作放棄地対策事業

① 雑草駆除作業等の支援

- ・ 自己管理が困難な農家からの要望を受け、農業生産法人かぬまに委託して耕起や雑草駆除作業を行い、農地の耕作放棄地化を未然に防止した。
- ・ 実績 : 件数 2件、面積 1.2ha

② 耕作放棄地の解消に関する事業の実施

- ・ 市農政課、農業委員会事務局と共に現地調査を行い、農地の状態を確認し、事業の適用を検討するなど、「農地リニューアル事業」への協力を行った。
- ・ 実績 : 件数 21件、面積 3.0ha

(4) 新規就農者支援に関する事業

- ・ 市いちご新規就農者研修事業

本市が「いちご市」を宣言したことを受け、平成29年から「鹿沼市いちご新規就農者支援対策協議会」の構成メンバーとして参画している。今年度は、新たな研修用いちごハウスを6棟増設するなど、新規就農者支援のための研修環境の整備に努めた。

(5) 農業への理解促進と将来の担い手確保推進事業

① 親子農業体験学習事業

- ・市内の小学生、及び保護者を対象に農業体験を通して農業への理解や、食への関心を高めた。(広報かぬま及び近隣小学校へ周知)
- ・参加者：15組 46名
- ・開催：5月11日(土) 枝豆・さつまいも・落花生・とうもろこし・かぼちゃ播種
すいか苗植え・ひまわりの播種・終了後にいちご狩り
8月3日(土) すいか・かぼちゃ・枝豆収穫、除草、キャベツ
ブロッコリー・ネギの定植・大根播種・すいか試食
トラクター体験試乗
10月12日(土) (台風により中止し、後日収穫した野菜を配布した。)
予定していた行事内容 さつまいも、落花生収穫
収穫祭(おにぎり、豚汁で食事会、ポップコーン試食)

② 鳥獣害対策事業

- ・近年、イノシシやシカ、サルなど野生鳥獣による農作物への被害が深刻な状況にあるため、農業生産法人かぬまに委託している農家等に対して注意喚起のチラシを配布した。
また、減少傾向にある狩猟免許取得者を確保するため、市林政課や猟友会と連携し、「鳥獣害対策による狩猟免許新規取得助成要綱」を制定した。それに基づき狩猟免許取得に要する経費の一部を助成した。
- ・補助対象者の地域と人数：東大芦・板荷・西大芦地区各1名 合計3名

③ 麻の生産技術研究と普及啓発事業

- ・鹿沼市の伝統工芸作物である麻の栽培を継承していくため、公社自ら実践的な麻の栽培を通して生産技術向上のための研究を行った。

④ 農業後継者を対象とした研修事業

- (農業生産法人かぬま委託者地権者連絡協議会と共催)
- ・将来農地の畦畔管理を担う事になる農業後継者を対象に、安全な使用法・負担を軽減する使用法・機械のメンテナンス・除草剤の適正な使用方法などについて農業生産法人かぬま受託圃場を利用して実践研修を行った。
- ・実施日時 令和元年9月29日(日) 参加者69名

(6) 機械施設のリース事業

- ・農業機械リース事業の実施

貸出先	： 有限会社 農業生産法人かぬま
貸出件数	： ・ 機械及び装置 38台
	・ 車両及び運搬具 21台
	・ 建物、施設、備品等 37件

